戰

勝

太

原

太原城で萬歳を叫ぶわが勇士―航空便

敵を昆山附近に捕

直ちに西南方に進撃を開始、途中敵の抵抗を撃破し本朝支漕鎭を占領し續いて敗退っ る協力の下に遠く敵の背 後たる白茆口附近に敵前上陸を决 行し多大なる成果を收め【上海十四日同盟至急報】上海軍正午發表――我强力なる兵團は 昨十三日海軍の密接な

上海十四日本社特電】 わが強力なる新鋭部隊は十三日早朝 揚子江岸白茆口に敵前上

上海十四日同盟至急報』艦隊報道班正午發表≔找海軍○○喊隊は陸軍の大兵團を遷衞して十一月十三日早朝揚子

戦隊場陸を掩護

今く敵の背後を衝き全力をあげて陸軍部隊の楊隆を掩護、所期の目的を遷成せり

攻防線の幕は切つて落されたの。 塩山、大倉を第一線とする南京 に敗退中である。かくてこぶに、

間の問題となった。かくて観響 。風色方面の敵は西側をつかれ

後等時五十分達にこれを駆破、 廣平は完全にわが配に陥し

【十三日】

同の程度提携を企園して リー政府は日、7級、伊、 リー政府は日、7級、伊、 リー政府は日本のみなら と友好護保にある

第6題长續7日

太原攻略で 敵の損害甚大

寒さに向って

,…… 明喉の病氣に

…… 同されぬやう

質勝門長轍公博は十二日ローマに一るがムッソリーニ首相の日支統第

現宗及下京様兵器徳数 4 において我軍の 変悪軍 | で十四日同盟特派員競]

命的であったかが遺伝 に確認を極ら極の受けしに向って我軍の攻撃と 明した。これにノラー

でリテーコ、000両、 でリテンターの、のでは、では、1000両、防盗当二、000円、防盗当二、000円、所盗当二、000円、000円、000円のでは、1000

でとうない。 ユーベキ、その 他無数

◇ボンクーパーは

局石國民使節

堂々正義を

精著物質となり口中から 溶解してコロイド性の

咽喉、食道への枯燥組

要態の様に酸ひますからし 総をベトン式の緊囲な

ボンクーパーの一起

総を日中に合むと自然に

口幣りの良い柔軟さでし

歌師を照くして十宗も似させ 外来の情頃に測げまれず、窓 外来の情頃に測げまれず、窓

さいる様に抵抗力を強大にしま

心の明候部を迅速に通過して

在来のものは口から町

質に随込んでしまうため効果

原権國に通告

に除し謝電が光豐氏から 國に對して通告をした。 は對外保御の一部支排

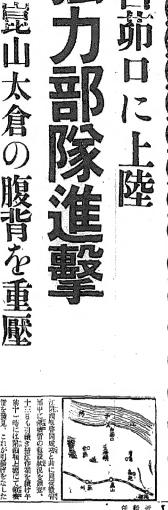
に際し釜山より左の如き取有質光整氏は十三日夜

削造業を参売ならんみをしまいの感染を味け我がして大方を位ま年の御安けて大方を位ま年の御安 の御自愛御加登を希ふ 拠の北和を本社々長に

明氏(平原関係法院領事 不知火旅館 一十四



武藥進星 广京城日作 品切れの桁は直接本舗へ 一・全國の百貨店、製店にあり。 (郵男代用にても可)



即十一時には閉鎖権上部にて敵

行派員十二日後】我が江上艦隊終 【冠髓〇〇七一张伏、中村兩同盟

業完了す

伊消息通『有り得る』と觀測

【上海十四日同盟至急報】わが軍は今朝太倉城に突入一角を 占領した

倉城の一角を占護するに至った

各部隊破竹の勢ひ

部隊は破竹の勢いを以て追撃一邦、南三方面より太倉城城を包配 太倉は樹尚々口の北岸にあつて

【上海十四日同盟】艦隊報道班午前十時半發表==帝國海軍は黄浦江水路警戒航行危険物の清掃に努めつつ

定を攻略した我が〇〇、〇〇、〇〇、古様し続いて撤拾過行軍を以て北「上部十四日同盟主条報」昨期沿「武定、大倉領道上の要認及號軌を

太倉とはこ

比良は黄浦江を溯航閔行に到達松江方面の陸軍と完全に連絡せ

十三日未明帝國軍艦保津、

佛外務省不滿

日曜氣

消息巡方面では右管音楽の採捌に

朝刊休み

(阿俊语) 闰上

設する意間はない、変しない、上本は北支に対関しい、上本は北支に対関 **文渉を募さしむるならば** 十渉せず日本をして支那に貢献した、もし世界が ンロー主義は西半球の平 早の感を発れな、アメリ 陳約進度と訓詁するのは 同唱 ル政府は衍遊法を設布 の無秩序に集団する必に関って、四里・ロッパ諸域もに関ったこ ・ジャネイロ十三日同 ·i會演說 入的平和は保障さるる

咽喉の痛を治す! する脚筋があります。 撃を良くする!

いので使用されて呼ります。
し易く、用ひ易く、効果が多
化対性上であらゆる庭に、状態
オフイス、統略、スポーツ、 致べた喉咙の賦活薬として、新しいせき止め類として又、 ◇ボンクーバーは

原京•日本語•室町二 定假 三十銭(位中谷)(付)

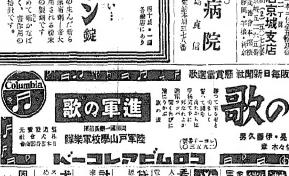
【先頭から二人目が絶替】

、紺碧の大空に舞上る二機









電客に上三大番号福人直接水院ありたし

給 京縣

電影で見塩井醫院 淡言言祭

看 遊 经外上的社会银币和

軍歸本局三七八番

貞

病

M III encare or

歌選當賞縣 社開新日毎阪大 社開新日日京東

皇國臣民體

大の書頭 男久藤伊·是 平松·扇忠野中 華木々佐・昇 島森

〇七曜 ・半二〇日曜休ろ の勤終時間・排日朝丁時よ り夕四時近 の 東 城 新 生 會

作

東 城 新 生食に 京 城 新 生食に 専 城 新 生食に 東 城 新 生食に

かっせ下さい、私の苦い、私の苦い、私は智恵庫へ ・さい、私は智恵庫へ など、の選方等で高い ない、私は智恵庫へ は一時かへのトンデル がは、私は智恵庫へ

聖治

北鮮鍼灸按講習所の生徒さん

吉田上等兵

盗掘品の故買

判明しこれが渋須問髪と震略の保護との相剋を如何にすべきかに

く發を那支質が開作的な 修特超及E-ト乙獨 供提社重映光国 海ボが支那戦線

心語本屬六九一番 汀州與本出京城府吉野町一丁目九十一番地

恩



店 商 木 鈴 髭 舗本案の味 適用御省内宮



十月一十年 1000年前期 第一八 十和昭

萬の敵潰亂狀態 、常熟一帶で

わが三方よりの包園陣成る

連續爆撃を加へつつあり、三方面よりの攻撃體勢は着々完成に近づき袋の鼠穴萬の連續爆撃を加へつつあり、三方面よりの攻撃體勢は着々完成に近づき袋の鼠穴萬の左する道路上の約一萬も無統制のま、大皋遁走を續け、また大運河上を舟を驅つて南を紊して潰走しつつある、太倉、常熟を通ずる道路上の約一萬、崑山より蘇州に通を紊して潰走しつかる、定山一帶約六萬の敵は旣に全く潰亂狀態に陷り右往左往陣列の猛攻に常熟、太倉、崑山一帶約六萬の敵は旣に全く潰亂狀態に陷り右往左往陣列の猛攻に常熟、太倉、崑山一帶約六萬の敵は旣に全く潰亂狀態に陷り右往左往陣列の猛攻に常熟、太倉、崑山一階以來一路南下しつつある○○部隊、太倉方面よりする段軍【安亭鎮十四日同盟】崑山方面よりする我が○○、○○部隊、太倉方面よりする○○、【安亭鎮十四日同盟】崑山方面よりする我が○○、○○部隊、太倉方面よりする○○、 **大殲滅戰**は今夜に迫つた

南よりする岡本部隊 水路作戦で蘇州に猛進

に舟筏の利用により水路作戦を敢行しクリークの波河凝山湖の横斷により十四日早期早くも平望鎮に達し蘇州上【上海十四日同盟至急報】上海軍午後一時三十五分發表=さきに青浦を占領北進せる岡本部隊は丁兵部隊協力の下 り嘉興に通する鐵路を中斷し更に蘇州に向ひ猛撃中なり

平望鱮を占領

わが作戦に重大利益

「本紙不再錄」

軍事上計り知れい重大利用を購す 厳しその死命を継ずることとなり

蘇州城外大動搖

上陸部隊前進

その全力を駆けて上版作物及び地味が分類表=建軍飛行隊に昨日第

度山、太倉、蘇州などの郷市厚山

て敗走中の高部職を強調、各大のり常派に選手の連絡に無関をうつ 輝・ 飯杖接着に任すると共に変え 院及び強撃各民職との運搬遂に相

り背水の概を布き破滅の影情を必らましこの専山を守るには文学道 高唐占領

の剣作の春殿と狭何の襲いを以て要とする、我が様子江新上陸部隊 【天津十四日同四日 政治教育百日

瀬河本院における歌左翼を観の事 近河本院における歌左翼を観めませる の間地

我軍崑山城に迫る

撃を鎖行し遂に正年頃〕山坑に肉瀉市外の外廓を挟んで激戦中・中窩にて十四日同盟特派員凌」司本、長谷川、神田のそ部隊は全 神田の各部隊は今朝來全力をあげて崑山政

一般は千宝日の概念において他訳の ユ・フルゲマイネ・ツァイドング 「ベルリン十三日同盟」 ドラッチ

後二時解開城に内郷と一斉に領攻」した、前の曹重先體五百、我方職

を精組したが搬は筋両、総邑の一死二、戦傷す名である、この役者

の悪話部隊石田部隊は作士二日午

へきれず午後一時四十分之を占領

天津下四日同盟 人黄河一香葉 密接で含死の投資を試ふたるが変

明かにするための報道と作賞な ローロッパの空氣弱弱化のため ることは特に日郷伊防共協定を **ランドはこれをソヴュートから** 称たるものあり、イギリス機根 には中一からる疾熱情布者の一 変に抜へてイギリスの空幕を リ各級はボーサンドのターデ 種を下すことが必要だ、最近 リックス版がヒトラー動物を 化せんとするこの種思様に對 てはサスシバレン要質相のエ ソバテの複説にある通り一大

ナマを揺撃し左の如く論じてある

のマー要東北より神道に敵の中里

主義教して来た石田部様に背後を一句聞きれ遊繹の連命にある

浸力中軸の防備を手薄にしてるた

唐を占領されたので題員、海河、

古神地を整理され、また十三日南

及城方面以北の徹は前面背側より

地方体地能原河の線を持んでその

| 辻孫にこれを粉碎し大黄河々岸に | 章にか、る日本北郊の食営家を上 係約分議は上二日午後四時中以非 一公開で獲開、英米伽三國代表の起 (プラッセハナ三日周報) 北ケ腰 各國代表の演説 と述べたがオランダ、ラトピア、 政府は宣音集の一部等くは全部 余の意見を以てすればイタリー を受薪し得ないと思え

代数アルドロヴァンディ・マレス で管成、確別代表ブルース氏は の極管に観恋を表しポルトガル、 メヤシコ南國代表も若干の智保附 午前の会議におけるデザイスア

が上きる機関を移攻ののも年度二

一時選して一番素語源の際語を知か

描像地であって、石田部家の神通 一東軍部方面における脳関係集の中

西書館とな、西部は黄河以北出

濟南間

中在英國東古语與英語高了日

既顧何を突破して十三日大道河北 でした石田部隊は更に西南と進撃 医斯十四日间跟于二日流文字为

ノールウエーの各國代表は官言家

の任照占領に引種き南和の敵を攻一十畝送局を適じ最近の異路時間に 戦中の〇〇部版は十三日午後四時一つき被説を試み左の如く述べた (石家港十四日同盟) 京郷柳東側 ド・パード少特は十三日コロムビ 反日論放送 バード少将 的ポイコットでこれをどの程度 侵略を止めさす最該方法は經濟 アメリカが質に戦争を避けなけ いきだ戦争に接きこまれないで

7は関連を攻撃中であるがその先 る六里の臨邑、徳南間の最難論の

学原子四日同盟 | 長野部屋の主| べく長層王回鞍に出て張河を称た

温暖の一部は敵の退路を三輪す一〇〇の筋を撃攻して之を占領した

夏口鎭の敵を撃破

は側面を迂回して夏月酸附近に差一そのうちには八十一節四八大個是一「ニスーコーター三」同題」極熱

は遺迹死動大百を残し敗走した。

一部指揮して知られたちゅぎゃり

二日陰邑城を後攻しつしその一部一

一天津十四日同盟」は野部隊は十一師のえて一千五百の節を撃破職

リカが柔く孤立政策をとるのは だ。プラジル政策に関してアメ 本が出支宣戦を報告してもこれ る。中立法は實際的でない。日 る機会にこれに属する必要があ 飾っても戦争に惨急込れると云 **馬鹿げてある。如何なる犠牲を**

音画民はその好む方法に推って 後等時半断共協策の立役者レイツ一層防止協定の効果に関し意思を交一攻略し南方における 絶衣人日ロンドンに阿洛丁、日午一丁一時間前に百り日期間保持にご 殿民他都接電前商相はドイツへの一同兵は微談引題中だがされを押し

ランスのハバス通信融の報道は

とこれを搭載したのち

態等を都様する

を含んでみる

日本の鉛支指平像件に関するフ

と主張した、ダイタリー代表再び 述べてあるに鑑み會議は日本政 に寄興するならば原供であると

ダンジスラン米、英、加代安は韓 硬に反割、譲渡沸騰したためオバ ーツ職長は見る何宣言案の証候審 と振識したがデヴィス・イーデン を求むべきではないか

一や修正の上来探されるものと見ら で同案は十五日の食職において美 の資識においてイタリーを除く客 原は官言案を原則的に受話したの 宇宙七部四十五分数者した。本台 午後四時音韻を再開することと ーナン南陸代表は本種政府へ開開

リ氏を訪問

~ロメイン十一百同館物派真要

大便リッペントロップ氏を制制、「操しり大使は更にローマ制限を中一質腦してその背景を "城域",完全互用三 は土一日以来北方に攻勢をとりす 午後一時十分經濟川縣店鄉地區西 月、海田、食料、横尾部**没**宫諸葛 産権の激励に任じてあた田代、層 方において固定面に厚り優勢なる 恵定域攻略と 機関し更に放 後回線などを

程度を攻略での西側大グリックを

渡河に遠明北郷に進出し農山の歌



駐券公便も逮捕か

ドイツ、イルコ、ボーランド曲様 ソガエーと公世ニョックアルムス 朱だ陽在せずその後何らの音が次 突如石混合会を受け制制した主に 氏はまる十一月三日本陶政府から の各ソグエート大使連捕のが 「ヘルシンギー芬聯ー十三日同題 何氏は達に逮捕されたのではない もないのでヘルシンキ外変界では へられてゐる折橋へルシン中野智 かと見てゐる

隣北かり盛つたり 「そのよ けふの天気

の最低温度」を使八

南市を占領性終する石井、陰談部隊

上班十四日同盟至是時)上班軍 太喜攻略公表 祖室殿前は十一部で帝追回を原見して大名の祖は ▲類定である | 私を河や口院腹稿を占額し夜に入 るも攻撃を験け今朝大者北方に選 出せり

心に想論を選げた

一数を温暖し大概を貸出方面に豪海 と協力昨夕既に貸山南方四キュ青 部隊注籍本、關村、中拉等全部 午後一時二十分後表しさきに適覧 中なりし商本、長春川、韓田等者 「上海十四日同盟至高限」上海

る安建、和知等の各部関す三言 を研究中である 倉在改略し相次いで選挙する際を を大倉に配泊、夜に入ると文間の **今後一時級安川東部古田英江西女**「上海十四日間盟王英烈」と教教 年をゆる必ず、今朝土時中華に木 野小同様を踏れ、登退文を選、館 西北方に歴迫中なり

ル国内間総群譚

件に接機内閣試験を要導した ラッチ氏を王宮に招致して一定の は直ちに選民黨を首イオン・まパ 財職を決行した、國王カスル二世 コ氏を宣説とする内閣は十三日 ュアの政情は過級ホ不安於無を気 してゐたがジョルジュ・タタレス マカレス小士三日同盟 ルーマ